

## NY マーケットレポート (2017年6月29日)

昨晩は、27日のドラギ ECB 総裁の発言が再び材料視されユーロが対円で上昇する流れとなり、ユーロ/円は一時1年5ヵ月ぶりの高値をつけた。また、ロンドン時間に英中銀のハルデーン理事が、前日のカーニーBOE 総裁が示唆した早期利上げを後押しする発言をしたことを受けて、ポンド/ドルが5週間ぶりに1.300ドルを突破した。

ドル/円は、NY時間序盤に米国長期金利の上昇を受け、ドル買いが優勢の中、米国GDP確定値が市場予想よりも上方修正されたこともあり、一時、112.93円まで上昇した。しかし、米国長期金利が下げに転じ、ダウ平均株価が値を下げ、250ドル超の下げ幅となるとドル/円も112円を割れ、一時111.82円まで下落するなど、ドル、ユーロ、ポンドの主要3通貨が大きく上下した。

### 2017年6月29日(木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	112.50	112.50	112.14
EUR/JPY	128.55	128.55	127.72
GBP/JPY	145.99	146.09	145.12
AUD/JPY	86.27	86.30	85.75
EUR/USD	1.1427	1.1433	1.1375

LONDON	高値	安値
USD/JPY	112.75	112.39
EUR/JPY	128.78	128.17
GBP/JPY	146.46	145.67
AUD/JPY	86.49	86.25
EUR/USD	1.1435	1.1392

\* 東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	112.10	112.93	111.82
EUR/JPY	128.27	128.83	127.88
GBP/JPY	145.80	146.53	145.37
AUD/JPY	86.12	86.53	85.69
NZD/JPY	81.78	82.24	81.42
EUR/USD	1.1442	1.1445	1.1388
AUD/USD	0.7682	0.7686	0.7654

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21287.03	-167.58
S&P500	2419.70	-20.99
NASDAQ	6144.35	-90.06
日経225 (CME)	19970	-240
トロント総合	15213.42	-142.16
ボルサ指数	49198.12	-141.98
ボベスパ指数	62238.95	+220.98

### 6/30 経済指標スケジュール

07:45 5月【NZ】住宅建設許可(前月比)  
 08:00 5月【韓国】鉱工業生産(季調済/前月比)  
 08:30 5月【日】失業率  
 08:50 5月【日】鉱工業生産(前月比)  
 10:00 6月【中国】製造業PMI  
 10:00 6月【中国】非製造業PMI  
 15:00 5月【独】小売売上高指数(前月比)  
 15:00 5月【南アフリカ】マネーサプライM3(前年比)  
 15:00 5月【ノルウェー】小売売上高(含自動車燃料/前月比)  
 15:45 6月【仏】消費者物価指数(前月比)  
 15:45 5月【仏】生産者物価指数(前月比)  
 16:00 6月【スイス】KOF先行指数  
 16:00 5月【トルコ】貿易収支  
 16:55 6月【独】失業率  
 17:00 6月【ノルウェー】失業率  
 17:30 1Q【英】GDP(前期比)  
 17:30 1Q【英】経常収支  
 18:00 6月【欧】消費者物価指数(前年比)  
 21:00 6月【ポーランド】消費者物価指数(前月比)  
 21:00 5月【南アフリカ】貿易収支  
 21:30 5月【米】PCEコア・デフレーター(前月比)  
 21:30 5月【米】個人支出(前月比)  
 21:30 5月【米】個人所得(前月比)  
 21:30 4月【加】GDP(前月比)  
 22:45 6月【米】シカゴ購買部協会景気指数  
 23:00 6月【米】ミシガン大学消費者信頼感指数  
 23:30 2Q【加】企業景況感調査[予想売上]

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1245.80	-3.30
NY 原油	44.93	+0.19
CME コーン	369.50	+3.25
CBOT 大豆	924.75	+3.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.37%	1.35%
3年債	1.52%	1.50%
5年債	1.85%	1.82%
7年債	2.10%	2.05%
10年債	2.27%	2.23%
30年債	2.82%	2.78%

ドイツ10年債	0.448%	0.366%
英国10年債	1.248%	1.152%

### 6/30 主要会議・講演・その他予定

--	--	--

## NY 市場レポート

21:00

### ◆◀ 経済指標の結果 ▶

- ・ 6月ドイツ 消費者物価指数（前月比）0.2%（予想:0.0%・前回:-0.2%）
- ・ 6月ドイツ 消費者物価指数（前年比）1.6%（予想:1.4%・前回:1.5%）



出所：Bloomberg

### ◆◀ 経済指標のポイント ▶

①ドイツ連邦統計局が29日発表した6月の消費者物価指数（CPI）速報値は、前年同月比1.6%上昇となり、インフレ率は前月の1.4%を上回った。エコノミスト調査の中央値では1.3%への減速が見込まれていた。前月比では0.2%上昇した。

②依然として ECB 目標の2%弱には届かないものの、予想より高いインフレ率は、景気回復が賃金や消費者物価に波及しつつあることを示した。先日からのドラギ ECB 総裁の一連の発言により、ECB 当局者らは量的緩和（QE）の縮小について協議を始めており、今回のCPIの予想以上の上昇は、早期QE縮小の後押しとなる可能性がある。

21:30

### ◆◀ 経済指標の結果 ▶

- ・ 1Q 米国 GDP（前期比年率） 1.4%（予想:1.2%・前回:1.2%）
- ・ 1Q 米国 コア PCE（前期比） 2.0%（予想:2.1%・前回:2.1%）
- ・ 1Q 米国 個人消費（前期比） 1.1%（予想:0.6%・前回:0.6%）



出所：Bloomberg

**指標結果データ**

《米 GDP 確定値》

	1Q 確定	1Q 改定	1Q 速報	4Q	3Q	2Q	1Q
GDP	1.4	1.2	0.7	2.1	3.5	1.4	0.8
個人消費	1.1	0.6	0.3	3.5	3.0	4.3	1.6
耐久消費財	-1.6	-1.4	-2.5	11.4	11.6	9.8	-0.6
非耐久消費財	1.6	1.2	1.5	3.3	-0.5	5.7	2.1
サービス	1.4	0.8	0.4	2.4	2.7	3.0	1.9
設備投資	10.4	11.4	9.4	0.9	1.4	1.0	-3.4
住宅投資	13.0	13.8	13.7	9.6	-4.1	-7.7	7.8
輸出	7.0	5.8	5.8	-4.5	10.0	1.8	-0.7
輸入	4.0	3.8	4.1	9.0	2.2	0.2	-0.6
政府支出	-0.9	-1.1	-1.7	0.2	0.8	-1.7	1.6
最終需要	2.6	2.2	1.6	1.1	3.0	2.6	1.2
国内最終需要	2.3	2.1	1.5	2.8	2.1	2.4	1.2

1-3 月期の米 GDP 確定値は、年率換算で前期比+1.4%となり、改定値から 0.2 ポイント上方された。GDP の約 7 割を占めるとされる個人消費や貿易の寄与が拡大した。

①個人消費は+1.1%と改定値から 0.5 ポイントの上方修正。輸出は+7.0%と改定値から 1.2 ポイントの上方修正、輸入は+4.0%で 0.2 ポイントの上方修正となった。企業の設備投資は+10.4%と 1.0 ポイント縮小。住宅投資は+13.0%で 0.8 ポイント縮小。

②政府支出は-0.9%と改定値の-1.1%から上方修正となった。

21:30

◆《 経済指標の結果 》

・ 6/24 米国 新規失業保険申請件数 24.4 万件(予想:24.0 万件・前回:24.1 万件⇒24.2 万人)

・ 6/17 米国 失業保険継続受給者数 194.8 万人(予想:193.4 万人・前回:194.4 万人⇒194.2 万人)



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
17/06/24	+2,000	242,500	1,948,000	1.4%
17/06/17	+4,000	245,000	1,942,000	1.4%
17/06/10	-7,000	243,250	1,935,000	1.4%
17/06/03	-10,000	242,000	1,929,000	1.4%
17/05/27	+20,000	239,750	1,919,000	1.4%
17/05/20	+2,000	235,500	1,924,000	1.4%
17/05/13	-3,000	241,000	1,899,000	1.4%
17/05/06	-2,000	243,500	1,920,000	1.4%
17/04/29	-19,000	243,000	1,979,000	1.4%
17/04/22	+14,000	242,250	1,987,000	1.4%
17/04/15	+9,000	242,750		

受給者数は集計が1週間遅れる

米失業保険申請件数は、市場予想の 24.1 万件を下回る前週比+0.2 万件の 24.4 万件となり、市場予想に反して増加した。申請件数の 4 週移動平均は、前週比+0.1 万件の 24.3 万件となった。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+0.6 万人の 194.8 万人となり、4 週連続で増加した。受給者数の 4 週移動平均は、前週比+0.725 万人の 193 万 8750 人。受給者比率は、前週と変わらず 1.4% だった。

21:51

◆◀ 要人発言 ▶

ユンケル欧州委員長

・「日本との経済連携 協定（EPA）交渉は合意できると考えている」

22:25

◆◀ 要人発言 ▶

コーン・米国家経済会議 (NEC) 委員長

・「ヘルスケア法案、政府・上院は合意できる」  
 ・「3%の GDP 成長率、さほど高い目標とは考えない」

0:11

◆◀ 要人発言 ▶

ペスコフ・ロシア大統領報道官

・「米ロ首脳、G20 中に個別会談予定せず」

◆◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場では、ユーロ圏や英国で金融政策が引き締めに向かうとの観測が、売りを加速させた。独 DAX 指数は前日同様、ユーロ高の進行で、収益悪化懸念から輸出企業を中心に売りが膨らんだ。航空 IAG や半導体のインフィニオンが下落。一方、銀行の HSBC やコムルツ銀行は高い。



出所：Bloomberg

2:00

◆◀ 主要ニュース ▶

・英下院、メイ首相の施政方針を 323 対 309 で可決

2:05

◆《要人発言》

ブラード・セントルイス連銀総裁

- ・「現在の政策金利の水準は適切」
- ・「弱いインフレ指標は2%目標達成に疑問を生じさせる」
- ・「バランスシートの正常化は、最低でも5年掛かる」
- ・「米FRB単独の引き締め継続には強い指標が必要」

◆《欧州債券市場》

欧州債券市場では、前日同様、ドイツ国債への売り浴びせが続いた。ドイツのインフレ率が予想を上回り、最近タカ派に傾いたと見られるECBに緩和策縮小を行う根拠を更に与えるかたちとなり、ドイツの10年債利回りは7週間ぶり高水準となった。また、利上げ時期が早まったとの見方から、英国と欧州の短期債利回りは上昇した。

2:44

◆《主要ニュース》

トランプ米大統領、G20サミットでプーチン露大統領と会談へ

3:13

◆《要人発言》

ムニューシン・米財務長官

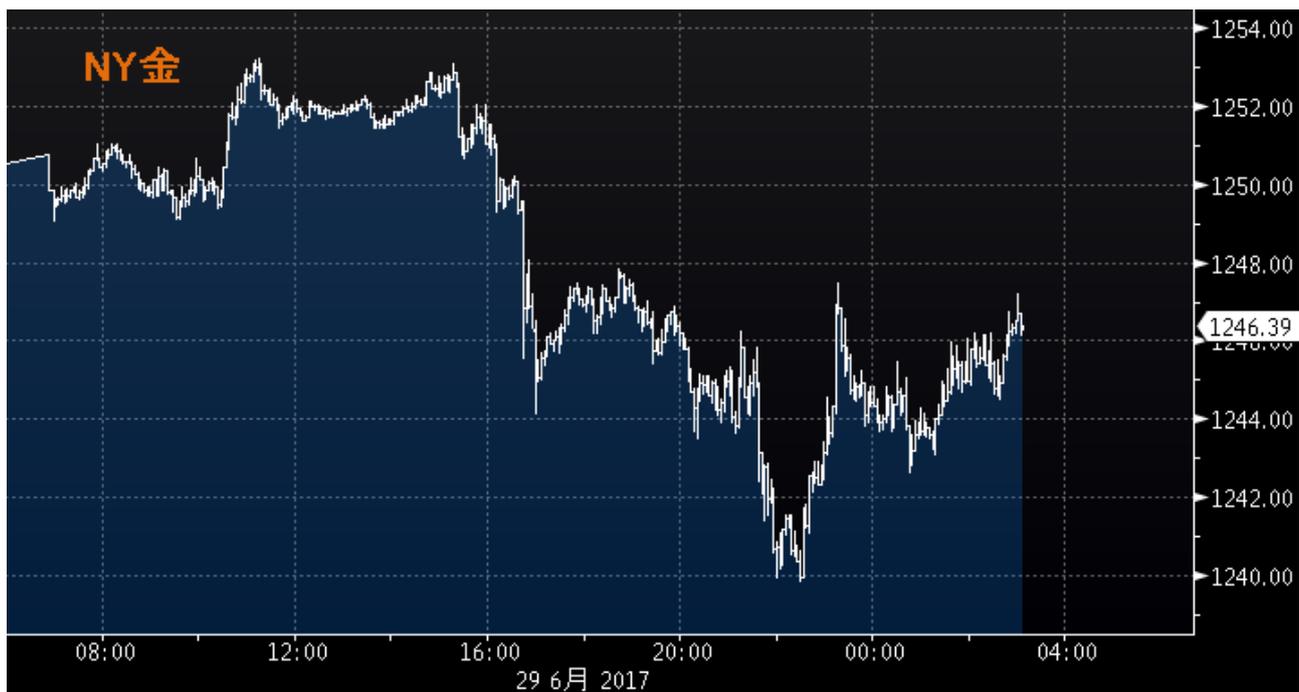
- ・「FRB議長職を巡る決定はまだない」
- ・「北朝鮮が態度をあらためるまで資金を止める」

3:25

◆NY金は、前日比3.30ドル安の1オンス=1245.80ドルで取引を終了した。

《 NY金市場 》

NY金は、欧米の長期金利の上昇で、金利がつかない金への投資の魅力が薄れたとして売りが優勢となり、3日ぶりの反落となった。ただ、外国為替市場でドルが主要通貨に対して下落したため、ドルの代替資産とみなされる金を買う動きもあり、下げ幅は限定的となった。



出所：Bloomberg

3 : 50

◆《要人発言》

ブラード・セントルイス連銀総裁

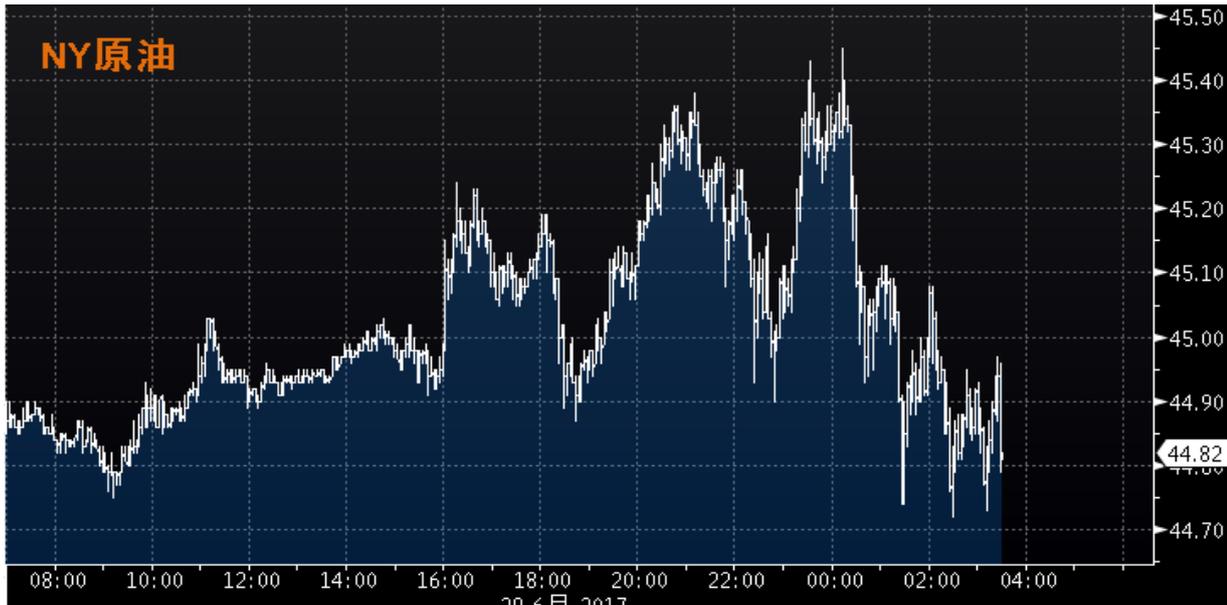
- ・「バランスシート縮小、9月決定の公算が強まる」
- ・「保有資産縮小、議長会見のある会合での決定が賢明」

4 : 25

◆NY原油は前日比0.19ドル高の1バレル=44.93ドルで取引を終了した。

《 NY原油市場 》

NY原油は、週間の原油生産量の減少が引き続き材料視され、需給改善への期待から買いが優勢となり6営業日続伸となった。



出所 : Bloomberg

◆《米株式市場》

NY株式市場は、前日の株価上昇の調整が入ったとの声もあり、IT関連株を中心として大きく売られた。また株式投資家の不安心理の度合いを示すシカゴ・オプション取引所（CBOE）のボラティリティ・インデックス（VIX指数）が6週間ぶり高水準となったことも売りを加速させた。



出所 : Bloomberg

### 《外国為替市場》

外国為替市場は、米国長期債利回りの上昇と、米国 GDP 確定値が市場予想より良い結果だったことから NY 市場序盤は、ドル/円を中心にクロス/円が上昇した。その後、米国長期債利回りが下げに転じ、また、ダウ平均株価が 250 ドルを超える下落となったことで、ドル/円は高値の 112.93 円から一時 1 円を超える下落となり、他の主要なクロス円もつれて下落した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。